

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立比々多小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことができている。 ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。 ・情報を相手に分かりやすく伝えるための書き方の工夫について捉えること。 ・話し手の意図を捉えながら聞いたり、目的に応じて質問を工夫したりして、そこから自分の考えをまとめること。 ・漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・台形について、ほぼ全員が理解している。 ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができている。 ・ひき算の計算方法の工夫を理解し、それを適用させて計算することができている。 ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見出すことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数式や言葉を使って自分の考えたことを記述すること。 ・減法の場合に成り立つ性質を基に、除法に成り立つ性質を記述すること。 ・図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること。 ・二つの棒グラフを関連付けて考えたり、わかることを記述したりすること。 ・除法の意味を理解すること。 ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活のリズムが整っている児童が比較的多い。 ・家の人と学校での出来事について話している児童が比較的多い。 ・自己の良いところを認めている児童が比較的多い。 ・ほぼ全員の児童が、やり遂げてうれしい経験をしたことがある。 ・人が困っていたら助けているという児童が比較的多い。 ・地域の行事に参加している児童が比較的多い。 ・国語の学習を普段の生活で活用しようとしている児童が比較的多い。 ・算数の勉強が好きな児童が比較的多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用が月に数回程度の児童が約半数となっていて、比較的小さい。 ・新聞を読んでいる児童が小さい。 ・総合的な学習の時間を自分で進めていると考えている児童が約半数となっていて、比較的小さい。 ・解答時間が足りないと感じた児童が比較的多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の書く力を育むために、様々なジャンルの文章を読む機会を意図的に増やしていく。また、低学年から発達段階に応じて、文章を書くと同時に、わかりやすく伝えるための書き方の工夫を捉えるための振り返り活動を位置づけていく。 ・自分の考えを明確にしながらか読むとともに、それを活かして話し合い活動を充実させる。また、話し合ったことを基に自分の考えをまとめて書く活動を単元の中に位置づけていく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四則計算の意味を確実に身に付けさせるようにしていく。 ・単元の中に、数学的な考え方を数式や図、言葉を使って記述する学習を段階的に位置づけていく。 ・さまざまな考え方をお互いに解釈し合う学習や、その解釈を使って一般化をはかる学習を位置づけていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムが整っている児童が多く、家庭生活が落ち着いています。 ・自分のことを認めている児童、家の人と話をしている児童が多く、周りから受け入れられている様子が見られます。 ・地域の行事に参加している児童が多くなります。 ・図書館の利用や、新聞を読む児童が比較的小さいです。ご家庭でも、読書やニュースへの関心が持てるような声掛けをお願いします。
--